

子供の町 だより

創刊 昭和24年11月
発行 社会福祉法人 子供の町
児童養護施設
子供の町
エンジェルホーム
住所 〒344-0112
埼玉県春日部市
西金野井 337
TEL 048-746-0206
FAX 048-746-9215

年末から新年へ

社会福祉法人 子供の町

理事長 田中 文男

どうも年齢のせいなのか、涙脆くなってしまったような気がする。

昨年、本法人が設立されて65周年になったのを記念して卒園生と職員OBの方々に集まっていただく会が開催された。予想以上の人たちが参加され、会場となった講堂はギッシリで正に大入り満員。夫人同伴はもとより、子連れ、孫連れで大賑わい。様々な時代を過ごしてきた思い出話で、あちこちで笑い、泣き、まさに時間があっという間に過ぎ去ってしまった。どれが職員OBでどれが卒園生なのか見分けがつかない位の盛り上がり。その中をかき分けるようにして大勢の人達と話をする。職業も様々で、高校の教員がいるかと思えば、自衛隊の三佐、彼はオリンピックにも出場していた。看護師もいるし会社社長もいる。養護施設育ちというハンディを生き抜いて社会人となり、ともかくこの会に出席してくれたことが嬉しい。苦勞話を聞かされると思わず涙が出てしまうし、「お父さんの育った施設を見せてあげるよ」と夫人、子連れの彼とは思わずハグ！そして私も彼も涙、理事長をさせてもらっている幸せ

をこれほど感じさせられた事は無かった。

「ところで、あいつどうしているんだろう？」と、当時の仲間を気遣う人は寿可職人。「きょう、ここに集まれた人はいいけどさ、来られないヤツが心配だよな」本当にそのとおり。来られない人達の消息もしっかり法人として把握したいし、次の機会には必ず出席してもらおうと決心する。

そして新年

200名を割ったとしても、2才から18才まで、まだまだ沢山の子ども達が生活している。今年は例年以上に帰省できない子が多く、帰省率は40%程度。帰ってくることを望まない家庭の多さ。それ以上に児童相談所の判断で帰省させない方がいいという家庭の多さ。正直、辛いなと思う。だから年末に、帰省できない子ども達に少しでも新年が来た喜びを分かち与えて欲しいと職員達に依頼。その結果報告を1月の職員全体会で受けた。寮毎に初詣や映画鑑賞、ファミリーレストランでの食事。その他、様々な工夫で正月を過ごさせたという。職員達は自分たちの家庭での新年を返上して子ども達中心の正月のために努力してくれた。彼らの子ども達に対する思いを思うと、やっぱり涙が出てきてしまう。

そして、児童養護施設で生活する子ども達と職員を

テーマとしたテレビドラマの放映が始まった。「あれはドラマの世界」と言っても、見る人は真実の姿と誤ってしまうかもしれない。今どき体罰ができますか？ その瞬間、児童相談所に報告するし、場合によっては職員が首が飛び、「どんなことでも隠さない」という私の方針を全ての職員が知っているからだ。しかし、そういう問題よりも一般家庭の子供たちや親が「施設の子どもの姿があれなんだ」と思われる事が恐ろしい。自分の本意ではなく止むを得ず施設で生活する子ども達ではあるが、みんな逆境に耐えて生きようとしている。刑事物でも人情ものでも、テレビで放映されるドラマはあくまでドラマであり虚像である。それを理解してくれないと困る。少し腰が立ってきたら、またまた涙が出そうになった。

3月には卒業していく子ども達、長い子は2才から18才まで16年間を施設で過ごしている。この子ども達の未来を私は見守り続けたいと思う。「平凡でいいから幸せになれよ」と祈りたいと思う。祈りの時は私は泣かない。



就任に当たって

子供の町施設長 堀江 清人

平成25年3月、長く子供の町を支えて下さった施設長の鈴木幸夫氏が旧寮舎の建て替えや創立65周年記念式典を機に勇退されるに当たり、4月からこの子供の町の施設長をお受けすることになりました。昭和52年入職たくさんの方々を支えられここまでやってきましたこと感謝申し上げますと共に、この大変な時期の就任に責任の大きさに戸惑いも感じております。

子供の町では、65年という長きにわたり、数多くの子ども達の受け皿としての役割を果たし、これまでに

旧虚弱児施設子供の町を含め、およそ3,000人にのぼる子ども達の養育を行ってきました。現在でも、昔を懐かしむかのように、60、70歳を過ぎた卒園生の方が時折訪ねてこられます。昔のアルバムを食い入るように眺めたり、当時の「子供の町だより」から知っている名前を探したり、当時の思い出や昔話をされて帰っていきます。

時代とともに社会情勢や環境はめまぐるしく変化してきました。その中で養護を必要とする子ども達は、その内容を変えながらも児童養護施設を利用せざるを得ない状況にあります。

国は、その子の生活環境が、入所した施設や担当する職員によって差があってはいけない、日本中、どここの施設でも同じような援助が受けられるように方向性打ち出しています。私たちの法人の2つの児童養護施設のような定員100人150人とした大規模な施設ではなく、小規模化、生活単位のスリム化、地域化、そして高機能化を求めてきています。

その移行期であり、いずれにせよ乗り越えていかなければならない課題がたくさんあります。職員並びに多くの皆様の力をお借りし頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

卒園児情報

子供の町で高校を卒業し、苦学して大学に進学した吉田君がいよいよ卒業を迎えます。手記をいただきました。

文教大学4年 吉田明夫

20年に渡る子供の町での生活が終わろうとしています。多くの方々の支えがあって今の僕があります。子供の町の職員様方を始め、子どもの町後援会様、NPO法人ブリッジ・フォー・スマイル様へ感謝申し上げます。春からは小学校の教師として働くことが決まっています。

大学生生活の4年間は、多くのことを学び、充実したものとなりました。この4年間は、人生の中で一番頑張った時期です。辛いことも多くありましたが何とか乗り越える事が出来ました。本当に辛い時に支えてくれたのは大学で出会った友人でした。辛いと事があっても『教師』という同じ志を持った友人と支え合いながら、夢に向かって邁進することが出来ました。また、それまで児童養護施設出身であることを隠していましたが、友人には全てを打ち明ける事が出来ました。かけがえない友人との繋がりを、今後も大切にしていきたいです。

大学生生活の4年間では、何事にも全力で取り組むことを目標にしていました。大学内での小学校教諭免許履修者選考合格、関東大会への出場(陸上・ハンマー投げ)、マクドナルドでのマネージャー昇格、埼玉教員養成セミナー研修生への抜擢、教員採用試験合格などの経験は、自分を大きく成長させることができたと思います。貴重な経験を糧に、今後も邁進していきたいです。

毎日の大学での授業もたいへん刺激的でした。興味のある教育学と心理学の講義を中心に、多くの単位を取得しました。教員免許に加えて認定心理士及び認定健康心理士の資格を取れるように授業を受けました。学んだことを忘れずに、今後の教員生活の中で、多くのことを実践していきたいです。

2歳から18歳までの寮生活も良き思い出です。楽しいことが多くありました。一番の思い出はソフトボール大会で優勝したことです。感動的な経験ができました。また寮外出で色々なところに行けたことが嬉しかったです。何よりもトラブルがあっても決して見捨てず、育ててくれた職員の方々がいてくれたことが嬉しかったです。子供の町で生活することができて本当に良かったです。

今後の目標は、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、社会教育施設、病院、老人ホームでの実習を活かし、『信頼される教師』になることです。また、特別な事情

を抱えた子供たちを支え、その子供たちの力になることです。教師は多忙で辛いことも多くあると思いますが、その中でもやりがいを見出して充実させたいです。

今の僕がいるのは、大学進学を尊重して下さい、支援してくれた方々のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、今後も精進します。

本当にありがとうございました。



「子供の町」あれこれ

事務長 根岸 昇

立春が過ぎて大雪に見舞われましたが、子どもたちが率先して雪かきをしてくれました。中には半袖Tシャツ姿もあり、頼もしい子どもたちです。自然界では鳩が小枝をせっせと運び続け巣作りをしています。もうすぐ春ですね！「子供の町」あれこれをご紹介します。

◆11月5日 明治記念館において、恒例の第53回「子供の町のための園遊会」チャリティバザー(子供の町後援会主催)が開催されました。当日は3連休明けの火曜日にもかかわらず約600名の入場者がありました。宮家・篤志家・企業等多くの御協力者からご提供いただいた品々を福引の景品にしたり販売しました。また、専門店(装飾品・呉服・履物・陶器・衣料品・民芸品・バッグ・食品・ワイン・日本酒等)30店舗に出店していただき、売り上げの一部を寄付していただきました。本当に有り難いことです！！

◆11月30日(土)(社福)子供の町創立65周年記念企

画として、「退職職員と卒園生の集い」を講堂にて開催しました。今回は卒園生の年齢層を30才から50才代とし退職職員もその年代の子どもたちにかかわりのあった人たちをお招きしました。当日は退職職員25名・卒園生41名合計66名の参加。退職職員の中には青森県・岩手県・山梨県・静岡県からの参加、卒園生の中にも山形県・長野県・山梨県からの参加がありました。連絡先のわからない卒園生があまりにも多く、退職職員同士・卒園生同士のつながりで連絡してもらいました。現在のベテラン職員・管理職が在職中に、「退職職員と卒園生の集い」を次世代に引き継ぐ準備をしたいと思えます。ご寄附311,770円は後援会に入金！

◆11月9日～12月10日(延12回)インフルエンザ対策の重要な柱として「子供の町クリニック」医療スタッフによりインフルエンザ予防接種を実施しました。幼児から高校生までの入所児童と職員・パート職員対象。接種者数(率)は子供の町:85名(87%) エンジェル:78名(100%)職員:76名(88%)。今回も春日部市内の石川分館石川院長先生と看護師さんがボランティアで中高生50名の予防接種をしてくれました。

◆12月22日春日部市内で暮らしている外国人たちの親睦団体「グローバルファミリー」主催の国際ショナルクリスマスパーティーが子供の町講堂において開催されました。当日は韓国・中国・香港・フィリピン・タイ・パキスタン・アメリカ・ノルウェー・スウェーデン・ナイジェリアなど10数ヶ国と地域の方を含め約60名が来園されました。子供の町からはご招待のあった中高生の希望者約30名とダンスサークルの小学生15名、職員約10名が参加しました。受付のお手伝いには女の子たちが民族衣装姿で登場し、似合いすぎて超ビックリ！！時には職員に心配かけるあの子もこの子も、実は片付けを率先してやってくれました。ご近所へのご迷惑も考慮し夜9時には解散予定でしたが、テーブル・椅子片づけ、床掃除まで見事に時間内に綺麗にし

てくれたのです！感謝！！

◆2月8日春日部市体育賞表彰式があり、エンジェルホールの田島隆聖君(宮代特別支援学校高等部3年)が優秀選手賞に選ばれました。第13回全国障害者スポーツ大会2部門(100M・ジャベリックスロー)の優勝が評価されたものです。(2014.2.16記)



地域小規模児童養護施設 「菜の花」情報

今年度4月、地域小規模「菜の花」を立ち上げました。子ども達は、小学生3人中学生2人高校生1人の女の子6名でスタートしました。スタッフは、小島主任、平塚保育士、さらに鈴木前施設長御夫婦がサポートして下さい、パートさんと共に新生活を始めました。

小島主任を中心に手探りの生活を、スタッフの協力のもと日々重ねながら頑張ってもらっています。子どもたちも、今ではすっかり「菜の花に」落ち着き頑張っています。

これからもご支援よろしくお願い致します。



地域小規模児童養護施設
「菜の花」の小学生の書いた詩です

A . K

① いつかきっと

いつかきっと、はばたけるひがくる

いまはまっくらなやみでも

いつかは ひがさすんだ

ぼくは あきらめない

いまはどんなにくるしくても
いつかは よろこびがあるとしんじて
ほくは 生きていく

かなしいことがあっても
いつかきっと
ほくをたすけにきてくれる人がいる
つらいこと かなしいことを
いつかきっと
すくってくれる人がいるんだ

② 心のたね

どりょくのたねは
 幸せの花がさく
なみだのたねは
 えがみの花がさく
いじわるなたねは
 みごうの花がさく
心のたねは
 心の花をえらぶ

③ それでいい

ほくは木
夏にはみんなのかけになる
太陽があついで
ほくはそれでいい

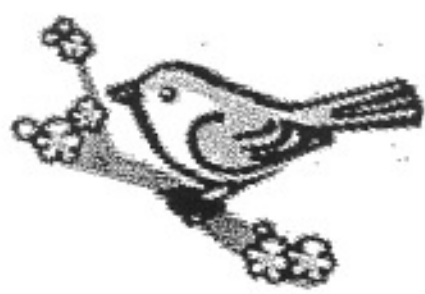
ほくは木
ときどき人間の子どもがくる
そして、ほくらは豊られる
少しいたいけどそれでいい

ほくは木
ほくはこのままがいい

25 年 6 月 理事・監事・評議員の改選を行いました

- <理事>
- 理事長 田中 文男
 - 専務理事 齊之平伸一
 - 理事 斎藤 安弘
 - 理事 吉岡 博光
 - 理事 松平 恒忠
 - 理事 徳川 康久
 - 理事 荒尾 雅也
 - 理事 小島 勝之(エンジェルホーム施設長)
 - 理事 堀江 清人 (子供の町施設長)

- <監事>
- 石川 利子 (1名欠員)
- <評議員>
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 田中 文男 | 有吉 暉子 | 松田 進 |
| 齊之平伸一 | 瓜生あつ子 | 杉崎 祐一 |
| 吉岡 博光 | 川田 公子 | 鈴木 幸夫 |
| 松平 恒忠 | 佐藤 侑子 | 吉川 成夫 |
| 徳川 康久 | 松平 豊子 | 根岸 昇 |
| 荒尾 雅也 | 鍋島 佳子 | |
| 久家 道子 | 二見 明子 | |



H25年1月～H26年1月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

21世紀キリスト協会	埼玉県労働者福祉協議会	ハッピーベア
JANZ-レディースグループ	埼玉西武ライオンズ ラインズこども基金事務局	浜友観光(株)
MS & ADにぞんスマイルクラブ	(株)埼玉ディエスジャパン	浜野 美香
NPO法人農家支援倶楽部	埼玉ヤクルトグループ	(株)ヒイラギ
阿久井 エイ	齋藤 道彦・貞子	(株)フィリップモリスジャパン
アサールメイト	指田 正孝	株式会社 プレナス
荒木 嗣則	三州製菓(株)	兵頭 絵更
(株)アラポー	杉戸町商工会青年部	福田智雄
飯橋 信雄	鈴木優子	藤平 肇
イケア新三郷店	鈴木 美子	フラワーヤマナカ
石川利子	瀬川 百合子	細田千恵子
(有)イーグルライン	関根由里子	保藤野 義彦
一般財団法人日本出版クラブ	全国シャンメリー協同組合	(有)本澤運送
一般社団法人 霧会館	金ヤオコー労働組合	毎日新聞東京社会事業団
一般社団法人 昭和会館	そば処 仁屋	(株)マイコーポレーション
一般社団法人スポーツトゥー・ハートプロジェクト	第一生命労働組合埼玉東支部	松平恒忠
伊東屋	株式会社 太平	松本タヨ子
井上 利一	太平 内牧夢ラン	三田ココロラボリング株式会社 埼玉支社
井上うたえ	太平 かすかべ夢らんど	水野 藍
岩槻安福朝市	太平 杉戸夢ラン	水野 みどり
内田 幸夫	太平 平方夢らんど	道の駅「日和」
内堀医院	太平プレイング関宿店	美濃部 秀子
憩彩会	高橋 賢司	(株)みのや
遠藤 邦子	高橋テル子	宮川篤次
大森機械工業(株)	高柳淑子	宮武孝直
岡野米菓	武田 篤	宮本医院
小川 弘	田中文男	明治神宮崇教会春日部支部
長田 健	(株)ダブルフォックス	明治神宮崇教会北葛中部支部
カーブス春日部ふじ通り店	千鳥屋	メディカルONE(株)
カーブスマルエツノ製店	(株)チュチュアンナ	門司 一徹
カーブスマスターマックス越谷店	東清物産(株)	森川 由理
春日部市社協 庄和地区支部	時田裕利	森本 悦次
春日部地区遊技業防犯協会	鳥越せんべい宮島商店	山崎 徹・直美
カスミユニオン	中村梨園	山崎清子
菊地 真理	中山 務	山下 美由紀
木下 秀夫	日本饅餅組合	(有)プリリアント
岩塚歯科	(株)日本総合開発	湯沢文雄
幸野 政子	日本スポーツ用品共同組合連合会	ヨークマート労働組合
興文館	日本レコード協会	吉村 祐子
(株)コストコホールセールジャパン新三郷店	ネットヨタ東埼玉(株)	楽園 渋谷道玄坂店
(株)ゴルフドック	農家支援倶楽部	電賣会
埼玉県更生保護女性連盟	野口一夫	渡辺和子
埼玉県書店商業組合	長谷川 浩一	匿名の方 6名

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

子供の町後援会からお知らせ

昨年11月の明治記念館でのチャリティーバザーは、皆様のご支援・ご協力をいただきまして、無事終了することが出来ました。心から御礼申し上げます。

後援会では、バザーの収益等で子どもたちの自立支援や進学支援を行っています。

今年度は、大学4年生の吉田君(後援会奨学金給付・学費貸付)が、無事に卒業いたしました。そして春からは、埼玉県の小学校教員となります。とてもとても嬉しい事です。夢をかなえるための彼の努力は、大変なものだったと思います。そんな中で、後援会の役員・会員の皆様、職員の皆様の応援は、とても大きな支えになったのではないのでしょうか。彼の姿をみて、子どもたちに夢を持つこと・自分の将来を自分で切り開くことを考えてもらえるきっかけになればと思います。

新会員のご紹介

坂本大助様 堀川恵美子様 斎藤 静様 若代彰道様

後援会へのお問合わせ 事務局 TEL 048-746-0205

編集後記 この1年いろんなことがありました。それなのに十分お伝えできなくて申し訳ありません。今後ともご支援よろしくお願い致します